2025 年度事業計画

〔活動方針〕

２０２５年、今年度で指定通所介護事業所「みんなのおうち」が開所して１７年。
就労継続支援 B 型事業所「にじいろの樹」は９年。グループホーム「月見荘」は８年になりました。日中系のサービスと生活のサービスと合わせて障がいがあっても島を離れる事無く暮らせるようになってきました、現在は屋久島の南部地域において障がい者福祉の中核を担う事業所となり責任も大きくなり皆様の期待に沿うべく努力研鑽が求められるようになりました。

グループホームは現在満室で待機者は日に日に多くなり一日も早く新しいホームの新設が望まれております。毎年、建築費の補助申請を出していますが今年度こそは三度目の申請で必ず国庫補助が受けられるよう取り組んで行きたいです。

並行して介護人材の確保の為、島外からの人材も雇用できるよう住宅の準備を進めてゆきます。空き家を確保するために関係する機関や行政と共に働いてゆきます。

各事業所の働く環境も整備し職員の資質向上やキャリアアップに向けた支援も推進し
利用されている方々へのサービスの質の向上を図って行きます。その為に皆さんの声が聴けるよう自由に会話できる環境や場を作って行きたいものです。

〔各事業所の今年度の目標〕

※「じゃがいものおうち」の役割と今後の活動について語ろう。

☆にじいろの樹　→福祉介護職員の職務内容を踏まえ、意見交換をしながら資質の向上及び具体的な計画を策定し、研修の実施または研修の機会を確保する。

☆みんなのおうち→利用者さん一人ひとりのやりがい、生きがいを感じる時間を増やす。
スタッフ一人ひとりの能力を高める。

☆グループホーム→世話人としての、知識、技術の向上を目指すと共に、勉強会へ積極的に参加する。安全、環境、感染対策の向上を図り心に届く世話人を目指す。

☆サロン湯之峯　→1, 社会との繋がり、地域交流の機会を持つ。2, カフェ業務の中でお客様とのコミュニケーションを大切にする。3, 一日 15,000 円以上の売り上げを目標に月 30 万円を超えるように、次のステップに繋がるようお店作りをしてゆく。

１、新しいグループホーム開設の為の申請を今年も提出する。
２、新築塩屋、製粉所を活用して製造販売を増やし工賃 UP に繋げる
３、製造部門の品質管理、衛生管理、人材育成に努める
４、積極的に研修に参加し学習し経験を重ねる
５、福祉交流の実施
６、通信は年１回発行する
７、介護人材を確保するために、住宅の確保、関係する機関、事業所、行政と共に働く

〔行事〕

○５月２５日	通常総会	○７月２６日	尾之間温泉祭り
○１０月～	種子島運動会・ゆっくり館運動会参加、安房小、神山小福祉交流		
○１２月	餅つき	○１月下旬	尾之間文化祭
○２月	産業祭	○ ３月しゃくなげ未来館、民生委員との交流	